

第 52 期 中間事業報告書

(平成14年 9月21日から)
(平成15年 3月20日まで)



『しあわせ株式会社』をめぐして

 マルサンアイ株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

このほど当社第52期中間期（平成14年9月21日から平成15年3月20日まで）における会社状況につきまして、ここに中間事業報告書としてご報告申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

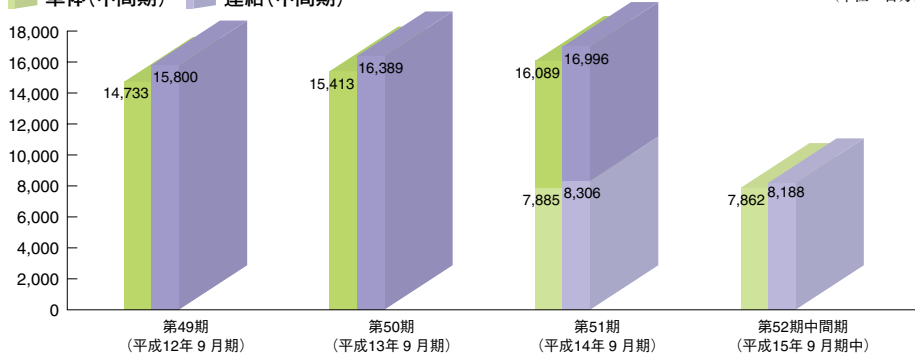
代表取締役社長 下 村 鈞 爾

業績の推移

● 売上高の推移

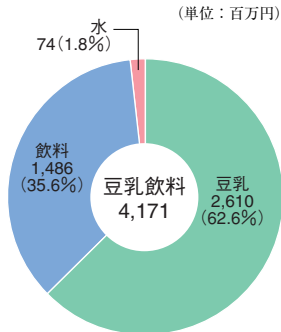
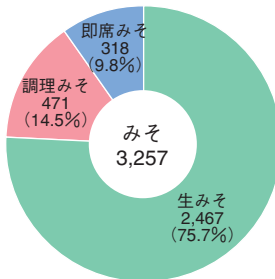
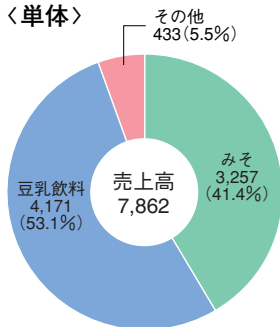
■ 単体(通期) ■ 連結(通期)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)

(単位:百万円)

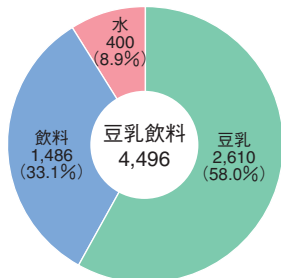
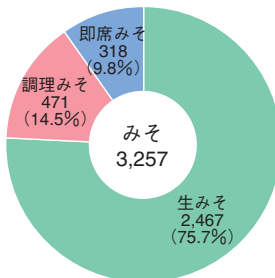
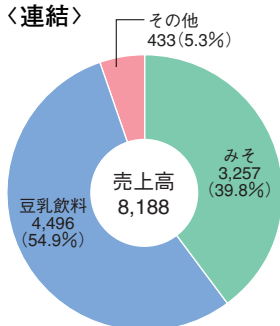


● 第52期中間期 (平成15年9月期中) 事業区別売上構成、製品区別売上構成

〈単体〉

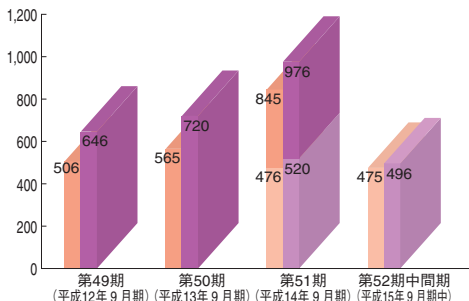


〈連結〉



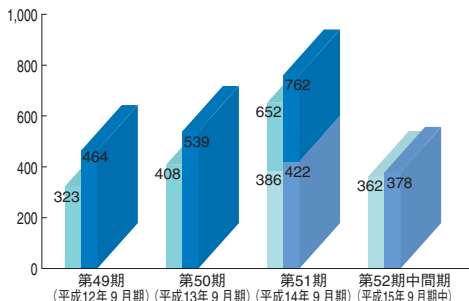
● 営業利益 (単体・連結)

■ 単体(通期) ■ 連結(通期) (単位: 百万円)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)



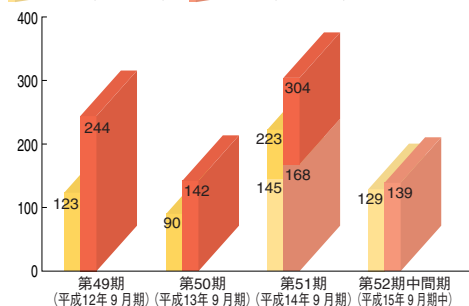
● 経常利益 (単体・連結)

■ 単体(通期) ■ 連結(通期) (単位: 百万円)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)



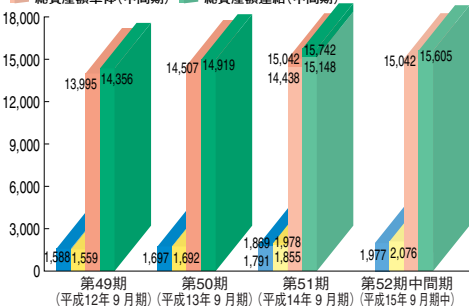
● 中間(当期)純利益 (単体・連結)

■ 単体(通期) ■ 連結(通期) (単位: 百万円)
■ 単体(中間期) ■ 連結(中間期)



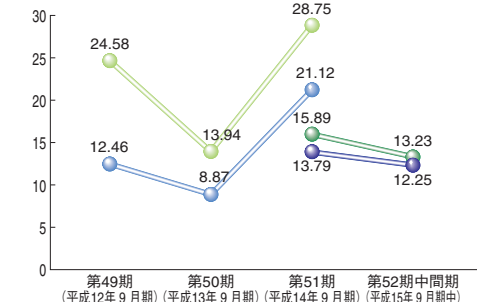
● 純資産額/総資産額 (単体・連結)

■ 純資産額単体(通期) ■ 純資産額連結(通期) (単位: 百万円)
■ 純資産額単体(中間期) ■ 純資産額連結(中間期)



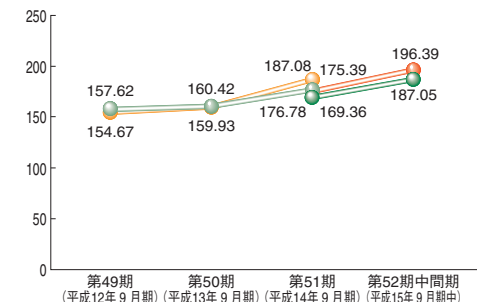
● 1株当たり中間(当期)純利益 (単体・連結)

● 単体(中間期) ● 連結(中間期) (単位: 円)
● 単体(通期) ● 連結(通期)



● 1株当たり純資産額 (単体・連結)

● 単体(中間期) ● 連結(中間期) (単位: 円)
● 単体(通期) ● 連結(通期)



営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国経済が減速する中、デフレ経済の長期化や株式市場の低迷に加えて、企業の設備投資意欲の停滞、雇用情勢及び所得環境の悪化などによる個人消費の落ち込みなど、景気は依然として不透明感が強い状況のまま推移いたしました。

食品業界におきましては、BSE（牛海綿状脳症）の影響が薄れてきたものの、食品メーカーによる不正表示事件などの相次ぐ不祥事により、食品の安全、安心、信頼に対する消費者の意識が高まる一方で、商品の低価格志向も根強いものがあり、企業倫理の確立とも合わせ、一層の企業努力が要求されております。

みそ業界におきましては、生産・出荷数量の減少が続く中、デフレ傾向による低価格化に歯止めがかからず、依然として厳しい状況が続いております。

豆乳業界におきましては、ここ数年来の好調さに加え、豆乳の効用が認知され消費者の健康志向とも相まって豆乳への需要は順調に伸びており、市場全体の拡大が続いております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めると共に、積極的な新製品の開発、安全・衛生・品質管理の徹底を図り、事業の効率化に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は豆乳の販売が引き続き好調ではありましたが、飲料及びその他の売上が前年を下回ったことにより、売上高8,188百万円（前中間連結会計期間比1.4%減）となりました。営業利益は、売上高の減少と平成15年4月から健康保険と厚生年金保険に総報酬制が導入されたことにより、賞与引当金に対する同保険料会社負担分32百万円を未払計上した結果、496百万円（前中間連結会計年度比4.6%減）となり、経常利益につきましては、持分法による投資利益が減少（前中間会計期間比18百万円減）したため378百万円（前中間連結会計期間比10.4%減）となりました。なお、特別損失として退職給付会計基準変更時差異償却額63百万円、厚生年金基金解散時不足金43百万円などを計上したため、中間純利益は139百万円（前中間連結会計期間比16.8%減）と減収減益となりました。

なお、流通の合理化による経営の合理化を図るため、平成14年9月21日付けにて100%子会社のマルサン商事株式会社を吸収合併いたしました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

① みそ事業

当中間連結会計期間におきましては、売上高は3,257百万円（前中間連結会計期間比0.2%減）営業利益は207百万円（前中間連結会計期間比17.9%減）となりました。

<生みそ部門>

生みそ出荷数量は14,777トン（前中間連結会計期間比0.3%増）と前年実績を僅かに上回ったものの、売上高につきましては、2,467百万円（前中間連結会計期間比1.2%減）と前年実績を若干下回りました。新製品として、安心と美味しさをテーマに原料を特別に吟味して醸造したこだわりのみそ「国産原料100%無添加赤だし」を2月に発売いたしました。

<即席みそ部門>

即席みそ市場全体が引き続き漸減傾向にあることや、デフレによる販売価格の低下等により、売上高は、318百万円（前中間連結会計期間比1.8%減）となりました。新製品として、素材の旨みを引き出した即席みそ汁「揚げなすのおみそ汁」を3月に発売いたしました。

<調理みそ部門>

売上高は、471百万円（前中間連結会計期間比7.1%増）と当初の予定を下回ったものの、比較的好調に推移いたしました。新製品として、ありあわせの材料で手軽に新しいメニューを家庭で作れる調理みそ「新和風焙煎ごまみそ」、「新和風コク甘みそ」、「新和風ピリ辛みそ」を3月に発売いたしました。

みその市場規模は、長期的には漸減傾向にあります。大豆のよさが最近あらためて見直され、認知されつつあることから、「みそ＝みそ汁」という固定観念にとらわれずに、今後は調味料として積極的なレシピの提案等を行い、新たな需要の創造を図ってまいります。

② 豆乳飲料事業

当中間連結会計期間におきましては、売上高4,496百万円（前中間連結会計期間比2.0%増）、営業利益は306百万円（前中間連結会計期間比18.5%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツINC.につきましては、持分法投資利益により3百万円を営業外収益に計上しております。

〈豆乳部門〉

豆乳の出荷量は、16,374キロリットル（前中間連結会計期間比18.4%増）、売上高につきましても2,610百万円（前中間連結会計期間比18.1%増）と、引き続き好調に推移いたしました。新製品として、別売りの「海塩にがり」を使って豆腐作りが楽しめる「とうふができる濃い豆乳」、健康食品業界で人気の大麦若葉を使った豆乳飲料「大麦若葉のおいしい青汁」を3月に発売いたしました。なお、「とうふができる濃い豆乳」につきましては、一昨年一部のルートにて試験的に発売いたしました。同製品が非常に好評でありました。このたび生産体制も整ったことから、今回あらためて一般ルートで新発売したものであります。

〈飲料部門〉

飲料の出荷数量は18,811キロリットル（前中間連結会計期間比8.9%減）、売上高につきましては1,886百万円（前中間連結会計期間比14.2%減）と主に受託生産の落ち込みによるものであります。

新製品といたしましては、果汁飲料に海洋ミネラルを付加した健康志向飲料「ラズベリーミックス」を3月に発売いたしました。

③ その他事業

当中間連結会計期間におきましては、売上高433百万円（前中間連結会計期間比31.7%減）、営業利益は△17百万円となりました。主な減少理由として、他社商品120百万円の取扱減少、外部運賃収入88百万円の減少であります。

新製品といたしましては、「とうふができる濃い豆乳」の発売に伴い、「とうふができる濃い豆乳用海塩にがり」を3月に発売いたしました。

今後の見通しにつきましては、イラク戦争後の世界経済の動向、新型肺炎（SARS）の影響、また国内においては雇用情勢や所得環境は一段と厳しさを増し、個人消費の冷え込みが懸念されるなど、厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループにおきましては、環境問題への取組強化、食中毒や異物混入のないよう、今一度基本に立ち返り、環境面、安全面、衛生面で細心の注意を払い、安全で安心のできる製品づくりを目指していく所存であります。

今後は高齢化の進行とともに健康への関心はさらに高まると考えられ、こうしたニーズにフィットする商品開発が次の食品市場の焦点となると予想されます。

通期の見通しにつきましては、売上高16,976百万円（前期比0.1%減）、経常利益699百万円（前期比8.2%減）、当期純利益261百万円（前期比14.2%減）を見込んでおります。

なお、環境対策としてかねてから計画中でありましたオカラ処理工場が、平成15年6月下旬に完成し、稼働の予定であります。また、豆乳の増産に伴う廃水処理施設の改修工事を平成15年7月頃より実施する予定であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

マルサングループの概況

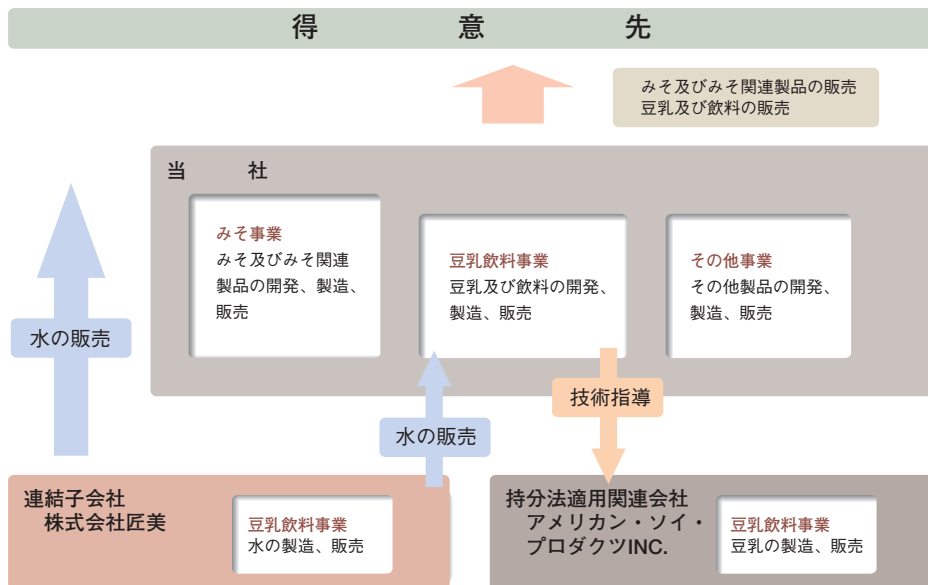
当社グループは、当社（マルサンアイ株式会社）と連結子会社1社（株式会社匠美）及び持分法適用関連会社1社（アメリカン・ソイ・プロダクツINC.）により構成されており、みそ及び豆乳・飲料の製造販売を主な事業の内容としております。

当社グループの事業に係わる位置付け及び事業の種類別セグメントとの関連は、次のとおりであります。

セグメント	主 な 事 業 内 容	主 な 会 社
み そ 事 業	みそ及びみそ関連製品の開発、製造、販売 中分類として、生みそ、即席みそ、調理みそ	当社
豆乳飲料事業	豆乳及び飲料の開発、製造、販売 中分類として、豆乳（OEM含む）、飲料（OEM含む）、水	当社 株式会社匠美 アメリカン・ソイ・プロダクツINC.
そ の 他 事 業	その他製品の開発、製造、販売 中分類として、その他食品、他社商品	当社

事業の系統図は、次のとおりであります。

[事業系統図]



中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間末 (平成14年3月20日現在)	当中間連結会計期間末 (平成15年3月20日現在)
		資 産 の 部	
流 動 資 産			
現 金 及 び 預 金		2,708,015	2,461,638
受 取 手 形 及 び 売 掛 金		3,411,983	3,614,600
た な 卸 資 産		1,044,742	1,029,706
繰 延 税 金 資 産		247,903	317,303
そ の 他		225,135	274,398
貸 倒 引 当 金	△	1,593	△ 4,283
流 動 資 産 合 計		7,636,187	7,693,364
固 定 資 産			
有 形 固 定 資 産			
建 物 及 び 構 築 物		1,606,628	1,562,037
機 械 装 置 及 び 運 搬 具		1,717,975	1,872,428
土 地		2,592,927	2,592,927
そ の 他		163,235	336,936
有 形 固 定 資 産 合 計		6,080,767	6,364,329
無 形 固 定 資 産		29,064	30,296
投 資 そ の 他 の 資 産			
投 資 有 価 証 券		778,089	841,221
繰 延 税 金 資 産		374,246	443,392
そ の 他		252,018	240,626
貸 倒 引 当 金	△	2,128	△ 7,876
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		1,402,225	1,517,364
固 定 資 産 合 計		7,512,057	7,911,990
資 産 合 計		15,148,245	15,605,354

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間末 (平成14年 3月20日現在)	当中間連結会計期間末 (平成15年 3月20日現在)
		負 債 の 部	
流 動 負 債			
支 払 手 形 及 び 買 掛 金		1,710,730	1,670,285
短 期 借 入 金		3,849,356	2,427,018
一 年 以 内 償 還 予 定 社 債		100,000	200,000
未 払 法 人 税 等		200,392	170,474
賞 与 引 当 金		328,605	306,063
未 払 金		929,962	1,256,635
そ の 他		418,511	667,836
流 動 負 債 合 計		7,537,557	6,698,312
固 定 負 債			
社 債		1,200,000	1,000,000
長 期 借 入 金		3,374,802	4,657,344
退 職 給 付 引 当 金		625,769	845,828
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金		285,753	182,923
そ の 他		268,666	144,686
固 定 負 債 合 計		5,754,990	6,830,782
負 債 合 計		13,292,548	13,529,094
資 本 の 部			
資 本 金		562,144	—
資 本 準 備 金		309,020	—
連 結 剰 余 金		968,233	—
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△	2,700	—
為 替 換 算 調 整 勘 定		19,308	—
自 己 株 式	△	308	—
資 本 合 計		1,855,696	—
資 本 金		—	562,144
資 本 剰 余 金		—	309,760
利 益 剰 余 金		—	1,169,716
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		—	△ 12,278
為 替 換 算 調 整 勘 定		—	50,330
自 己 株 式		—	△ 3,412
資 本 合 計		—	2,076,259
負 債 及 び 資 本 合 計		15,148,245	15,605,354

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)		当中間連結会計期間 (平成14年9月21日から 平成15年3月20日まで)	
売 上 高		8,306,107		8,188,004	
売 上 原 価		5,561,331		5,381,715	
売 上 総 利 益		2,744,776		2,806,289	
販売費及び一般管理費		2,224,221		2,309,783	
営 業 利 益		520,554		496,505	
営 業 外 収 益					
受 取 利 息		1,277		1,777	
持分法による投資利益		22,214		3,504	
技術指導料収入		18,439		19,814	
金利デリバティブ評価益		11,804		15,007	
そ の 他		16,713		9,327	
営 業 外 収 益 合 計		70,449		49,432	
営 業 外 費 用					
支 払 利 息		113,380		109,070	
社 債 発 行 費		17,400		—	
そ の 他		38,078		58,415	
営 業 外 費 用 合 計		168,859		167,485	
経 常 利 益		422,144		378,452	
特 別 利 益					
貸倒引当金戻入益		4,291		—	
特 別 利 益 合 計		4,291		—	
特 別 損 失					
固定資産除却損		11,319		13,222	
投資有価証券評価損		54,763		10,461	
退職給付会計基準変更時差異償却額		63,356		63,356	
厚生年金基金解散時不足金		—		43,158	
特 別 損 失 合 計		129,439		130,198	
税金等調整前中間純利益		296,996		248,253	
法人税、住民税及び事業税		202,150		172,500	
法人税等調整額		△ 73,303		△ 64,156	
中 間 純 利 益		168,150		139,910	

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)	当中間連結会計期間 (平成14年9月21日から 平成15年3月20日まで)
	連結剰余金期首残高		879,438
連結剰余金減少高		79,355	
配当金		79,355	
中間純利益		168,150	
連結剰余金中間期末残高		968,233	
資 本 剰 余 金 の 部			
資本剰余金期首残高		—	309,020
資本準備金期首残高		—	309,020
資本剰余金増加高		—	740
合併による増加額		—	740
資本剰余金中間期末残高		—	309,760
利 益 剰 余 金 の 部			
利益剰余金期首残高		—	1,104,302
連結剰余金期首残高		—	1,104,302
利益剰余金増加高		—	139,910
中間純利益		—	139,910
利益剰余金減少高		—	74,496
合併による減少額		—	740
配当金		—	68,756
役員賞与		—	5,000
利益剰余金中間期末残高		—	1,169,716

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)	当中間連結会計期間 (平成14年9月21日から 平成15年3月20日まで)
	営業活動によるキャッシュ・フロー		597,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	585,730	380,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		526,110	29,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△	3,334	1,374
現金及び現金同等物の増減額		534,108	219,782
現金及び現金同等物の期首残高		445,954	993,958
現金及び現金同等物の中間期末残高		980,063	774,176

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

単体中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第51期中間会計期間末	第52期中間会計期間末
		(平成14年3月20日現在)	(平成15年3月20日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 及 び 預 金		2,659,599	2,441,767
受 取 手 形		334,267	345,791
売 掛 金		2,903,142	3,119,170
た な 卸 資 産		1,014,489	983,013
繰 延 税 金 資 産		240,800	313,500
そ の 他		245,109	291,265
貸 倒 引 当 金	△	1,150	△ 4,000
流 動 資 産 合 計		7,396,257	7,490,508
固 定 資 産			
有 形 固 定 資 産			
建 物		1,212,629	1,240,317
機 械 及 び 装 置		1,662,769	1,827,829
土 地		2,466,792	2,804,160
そ の 他		414,071	597,234
有 形 固 定 資 産 合 計		5,756,262	6,469,542
無 形 固 定 資 産		28,913	30,145
投 資 そ の 他 の 資 産			
関 係 会 社 長 期 貸 付 金		266,000	—
繰 延 税 金 資 産		327,700	403,400
そ の 他		702,063	693,207
貸 倒 引 当 金	△	2,218	△ 7,876
子 会 社 投 資 損 失 引 当 金	△	36,800	△ 36,800
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		1,256,744	1,051,931
固 定 資 産 合 計		7,041,920	7,551,618
資 産 合 計		14,438,178	15,042,127

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	期 別	第51期中間会計期間末	第52期中間会計期間末
		(平成14年 3月20日現在)	(平成15年 3月20日現在)
負 債 の 部			
流 動 負 債	手 形	906,397	862,622
支 払 手 形	金 金	715,338	731,747
短 期 借 入	金 金	541,000	348,000
一 年 以 内 返 済 定 長 借 入	金 金	3,211,258	2,005,172
一 年 以 内 償 還 予 定 社	債 金	100,000	200,000
未 賞 設 備 支 払 手 形	金 金	907,821	1,235,421
固 定 負 債	形 他	305,701	295,969
社 長 退 職 給 付 引 当 金	金 金	155,629	385,942
役 員 退 職 保 証 引 当 金	金 金	445,081	440,186
固 定 負 債 合 計	合 計	7,288,227	6,505,060
社 長 退 職 給 付 引 当 金	債 金	1,200,000	1,000,000
役 員 退 職 保 証 引 当 金	金 金	2,976,656	4,363,044
社 長 退 職 給 付 引 当 金	金 金	601,820	845,828
役 員 退 職 保 証 引 当 金	金 金	277,943	172,923
固 定 負 債 合 計	合 計	33,000	33,000
		268,666	144,686
負 債 合 計	合 計	5,358,085	6,559,482
負 債 合 計	合 計	12,646,313	13,064,543
資 本 の 部			
資 本 合 計	金 金	562,144	—
資 本 合 計	金 金	309,020	—
資 本 合 計	金 金	111,220	—
立 分 金 益	金 金	435,000	—
立 分 金 益	金 金	377,668	—
立 分 金 益	金 金	812,668	—
立 分 金 益	金 金	△ 2,878	—
立 分 金 益	金 金	△ 308	—
資 本 合 計	合 計	1,791,865	—
資 本 合 計	金 金	—	562,144
資 本 合 計	金 金	—	309,760
資 本 合 計	金 金	—	309,760
立 分 金 益	金 金	—	111,300
立 分 金 益	金 金	—	489,000
立 分 金 益	金 金	—	520,447
立 分 金 益	金 金	—	1,120,747
立 分 金 益	金 金	—	△ 11,654
立 分 金 益	金 金	—	△ 3,412
資 本 合 計	合 計	—	1,977,584
負 債 及 び 資 本 合 計	合 計	14,438,178	15,042,127

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

単体中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第51期中間会計期間 (平成13年9月21日から 平成14年3月20日まで)		第52期中間会計期間 (平成14年9月21日から 平成15年3月20日まで)	
売 上 高		7,885,435		7,862,030	
売 上 原 価		5,264,188		5,169,405	
売 上 総 利 益		2,621,247		2,692,625	
販売費及び一般管理費		2,144,811		2,217,508	
営 業 利 益		476,435		475,116	
営 業 外 収 益					
受取利息及び割引料		7,127		1,777	
技術指導料収入		18,439		19,814	
その他の営業外収益		46,872		28,322	
営業外収益合計		72,439		49,914	
営 業 外 費 用					
支 払 利 息		111,081		104,135	
社債発行費用		17,400		—	
その他の営業外費用		33,890		58,106	
営業外費用合計		162,372		162,241	
経 常 利 益		386,502		362,789	
特 別 利 益					
貸倒引当金戻入益		4,409		—	
特別利益合計		4,409		—	
特 別 損 失					
固定資産除却損		11,319		13,222	
投資有価証券評価損		54,763		10,461	
退職給付会計基準変更時差異償却額		59,954		63,356	
厚生年金基金解散時不足金		—		43,158	
特別損失合計		126,038		130,198	
税引前中間純利益		264,874		232,591	
法人税、住民税及び事業税		202,000		168,000	
法人税等調整額	△	83,000		△ 64,900	
中 間 純 利 益		145,874		129,491	
前期繰越利益		231,794		381,476	
合併による未処分利益受入額		—		9,478	
中 間 未 処 分 利 益		377,668		520,447	

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

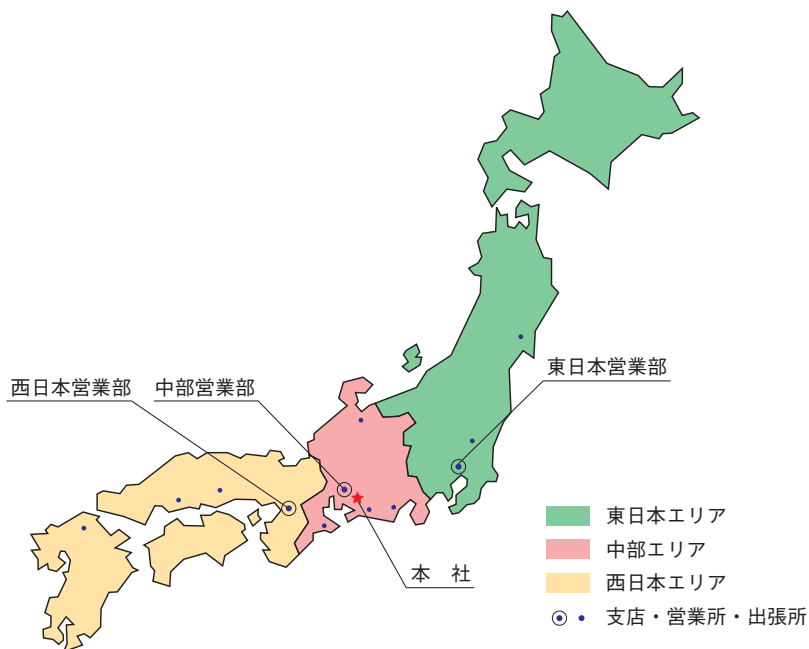
会社の概況 (平成15年 3月20日現在)

- 商 号 マルサンアイ株式会社
(英訳名：MARUSAN-AI CO., LTD.)
- 設 立 昭和27年 3月 7日
- 主要な事業内容 大豆を主原料とするみそ、豆乳、無菌充填技術を生かした飲料類、その他食品の製造販売。
- 資 本 金 562,144,000円
- 従 業 員 349名
- 会 計 監 査 人 中央青山監査法人
東京都千代田区霞が関 3 - 2 - 5 霞が関ビル32階
- 役 員 (平成15年 3月20日現在)

代表取締役社長		下 村 夙 爾
常務取締役	工場戦略・American Soy Products Inc. 担当	岩 月 博 保
常務取締役	営業戦略・原料担当	彦 坂 忠 昭
常務取締役	商品戦略・ISO担当	河 合 直 樹
取 締 役	開発本部長	小 川 脩
取 締 役	営業本部長	鍋 田 紘 一 郎
取 締 役	生産本部長	青 木 春 雄
取 締 役	管理本部長(兼)経理財務部長	鈴 木 擴 司
常勤監査役		村 松 茂 雄
監 査 役		畝 部 泰 則
監 査 役		新 井 一 弘

事業所 (平成15年 5月1日現在)

● マルサンアイ営業ネットワーク



本社／工場 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地
 大門工場 愛知県岡崎市大門4丁目1番地11
 東京支店 東京都世田谷区千歳台4丁目6番地5
 仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区高砂1丁目302番地1
 北関東支店 栃木県小山市城東1丁目4-24小山ビル2階
 名古屋統括支店 愛知県愛知郡長久手町蟹原911番地
 北陸出張所 富山県中新川郡立山町東大森289-2

静岡支店 静岡県静岡市宮竹1丁目15番10号
 オフィスプレステージ2階D号
 三河支店 愛知県豊川市三蔵子町橋本16番地1
 三重支店 三重県津市雲出本郷町485番地
 大阪支店 大阪府茨木市舟木町19番3号
 岡山営業所 岡山県岡山市岡町1丁目6番地
 広島営業所 広島県広島市安佐南区祇園4丁目8番地2
 九州出張所 福岡県福岡市南区高木1丁目9-12

〈子会社・関連会社〉

株式会社匠美 富山県中新川郡立山町東大森289-2

アメリカン・ソイ・プロダクツ INC. (米国) 米国ミシガン州



本社・工場



株式会社匠美



アメリカン・ソイ・プロダクツ INC.

主要製品



純正こうじみそ



高級赤だしみそ懐石



だし入りミックスみそ



だし入り高級赤だしみそ



カップ だし入りあわせみそ



カップ だし入り赤だしみそ



カップ だし入りこうじみそ



カップ 味の饗宴無添加生みそ



即席10食 みそ汁赤だし



即席10食 みそ汁あわせ



田楽みそ



カンタンお料理みそ



有機豆乳無調整



調製豆乳



麦芽豆乳



抹茶豆乳

新製品のご紹介 (平成15年 3月 1日発売)



●国産原料100% 無添加赤だし (平成15年 2月 1日発売)

小売参考 400円
荷 姿 1kg×10

国産原料100%『国産大豆・国産米・国産塩』を使用しました。豆みそのコクと旨みにこだわり、原料を吟味してじっくり熟成させたこだわりの赤だしみそです。豆みそに米みそを20%ブレンドして豆みそが持つ強い旨味とコク味を、口当たり良く一層引き立てています。加熱殺菌タイプの袋入り無添加みそです。環境に優しい減容量のピロタイプです。

●揚げなすのおみそ汁

小売参考 200円
荷 姿 3食×10×4

本格的な赤だしのおみそ汁が手軽に召し上がって頂けます。素材にひと手間かけて素材の旨みをひきだした、即席みそ汁です。油でサッと揚げた揚げなすと香り高い長ねぎを赤だしで仕立て、コクと旨みの調和したおみそ汁に仕上げました。



●新和風 焙煎ごまみそ

小売参考 200円
荷 姿 200g×10

いろいろな料理に必要なだけ使えるスパウトパウチです。いつもの素材で手軽においしく、料理のレパートリーを広げる調理みそです。野菜エキス、チキンブイヨン、はちみつ入りでマイルドな味です。

●新和風 コク甘みそ

小売参考 200円
荷 姿 200g×10

いろいろな料理に必要なだけ使えるスパウトパウチです。いつもの素材で手軽においしく、料理のレパートリーを広げる調理みそです。トウチジャン、オイスターソース、はちみつ入りでコクと旨みがぎっしりです。





●新和風 ピリ辛みそ

小売参考 200円

荷 姿 200g×10

いろいろな料理に必要なだけ使えるスパウトパウチです。いつもの素材で手軽においしく、料理のレパートリーを広げる調理みそです。豆板醤、ナンプラー、黒酢使用でピリ辛しっかり味です。

●田楽みそ

小売参考 120円

荷 姿 120g×10×4

いろいろな料理に必要なだけ使えるスパウトパウチです。他社商品より大径キャップを使用し、注ぎ口がみそで汚れにくく開閉が簡単です。じっくりねかせたコクのある豆みそに、焙煎ごまをほどよく加えた、風味豊かな田楽みそです。



●酢みそ

小売参考 120円

荷 姿 120g×10×4

いろいろな料理に必要なだけ使えるスパウトパウチです。他社商品より大径キャップを使用し、注ぎ口がみそで汚れにくく開閉が簡単です。ほんのり甘い京風白みそと、信州系米みそをブレンド。酢、レモン果汁をほどよく加えた、さわやかな風味の酢みそです。

●ゆずみそ

小売参考 120円

荷 姿 120g×10×4

いろいろな料理に必要なだけ使えるスパウトパウチです。他社商品より大径キャップを使用し、注ぎ口がみそで汚れにくく開閉が簡単です。信州系の米みそと、ほんのり甘い京風白みそをブレンド。すりおろしたゆずをほどよく加えた、風味豊かなゆずみそです。





●からし酢みそ

小売参考 120円
荷 姿 120g×10×4

いろいろな料理に必要なだけ使えるスパウトパウチです。他社商品より大径キャップを使用し、注ぎ口がみそで汚れにくく開閉が簡単です。ほんのり甘い京風白みそに、からし、醸造酢をほどよく加えた、風味豊かなからし酢みそです。

●大麦若葉のおいしい青汁

小売参考 100円
荷 姿 200ml×24

健康食品などで人気の大麦若葉を使った豆乳飲料です。大麦若葉とよもぎの風味が生きた、からだにやさしい豆乳飲料です。



●とうふができる濃い豆乳

小売参考 100円
荷 姿 200ml×24

大豆固形分11%以上。国産大豆使用。別売りの海塩にがりを使って豆腐作りが楽しめます。いままでにない“濃さ”が特徴です。

●海塩にがり

小売参考 100円
荷 姿 (5ml×3)×8×4

とうふができる濃い豆乳1本とにがり1袋でおいしい豆腐が、ご家庭で作れます。その他、炊飯や、煮物の隠し味などにもお使い頂けます。



●ラズベリーミックス

小売参考 100円
荷 姿 250ml×24

健康イメージの高いラズベリーに、クランベリー、ストロベリーをブレンドしたさわやかな飲料です。海洋ミネラルも使用しています。

トピックス

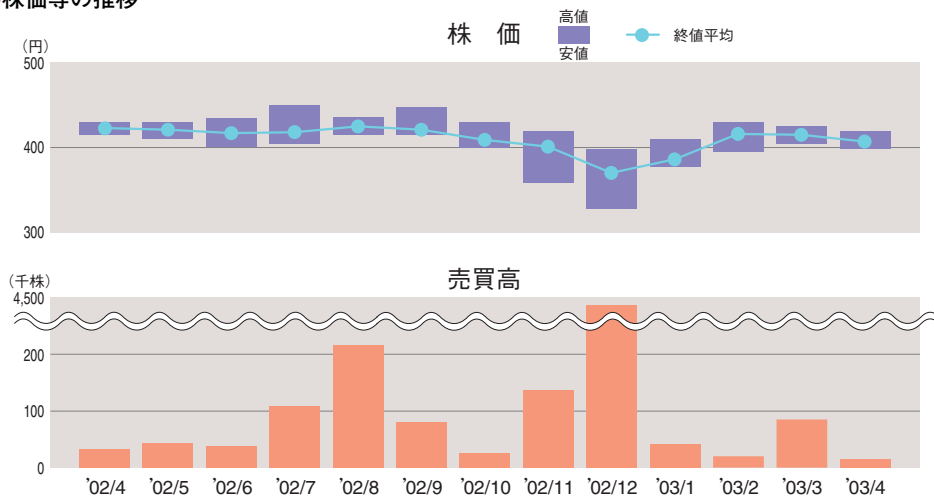
- 平成14年 9月 ● **当社100%子会社のマルサン商事株式会社を吸収合併。**
流通の合理化による経営の効率化を図るため、平成14年 9月21日に実施いたしました。
- 平成14年12月 ● **50周年記念配当の実施をいたしました。**
弊社50周年記念配当 1円50銭を含む合計 1株につき 6円50銭
- 平成15年 1月 ● **IRセミナーを開催いたしました。**
名古屋テレビアホールにて開催。
352名の熱心な一般投資家を迎え盛況に取り行われました。
- 
- 平成15年 2月 ● **東海インベストメントセミナーに参加いたしました。**
機関投資家に対するIRを実施いたしました。
- 平成15年 3月 ● **コミットメントライン契約締結**
金融費用の圧縮及び資金効率の向上を目的として(株)UFJ銀行、(株)みずほ銀行、岡崎信用金庫と契約を締結いたしました。(融資枠設定金額10億円)
- 平成15年 3月 ● **自己株式の立会外買付を行いました。(取得株数 6万株)**
- 平成15年 4月 ● **インターネット通信販売「e-まめ通販」スタートしました。**
大豆を中心とした食品のインターネット通販です。「マルサン倶楽部」に会員登録(当社HP(<http://www.marusanai.co.jp/>)より無料)の上、ご利用頂けます。
- 

株式の状況 (平成15年 3月20日現在)

- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 10,580,880株
- 株 主 数 864名
- 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持 株 数	議 決 権 比 率	持 株 数	議 決 権 比 率
株 式 会 社 佐 藤 産 業	1,525,300 株	14.48 %	—	—
マルサンアイ従業員持株会	931,900	8.84	—	—
佐 藤 公 信	695,420	6.60	—	—
中 島 典 子	426,830	4.05	—	—
福 島 裕 子	426,830	4.05	—	—
佐 藤 不 二 子	416,300	3.95	—	—
下 村 夙 爾	258,180	2.45	—	—
石 田 ち ゑ	255,280	2.42	—	—
杉 浦 義 基	177,260	1.68	—	—
株 式 会 社 U F J 銀 行	170,000	1.61	—	—

● 株価等の推移



株主メモ

決算期	毎年9月20日
定時株主総会	毎年12月
利益配当金受領株主確定日	9月20日 なお、中間配当を実施する時の中間配当金受領株主確定日は、3月20日であります。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部（証券コード：2551）
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号（☎460-0008） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 ☎(052)262-1520
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の 買取請求場所	名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所 (株式会社証券保管振替機構に預託されている単元未満株式については、 お取引の証券会社等にお申し出下さい。)

《お知らせ》

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

● 株主優待のお知らせ ●

毎年9月20日及び3月20日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、当社製品（定価3,000円相当）を毎年12月及び6月に贈呈いたします。



今年6月の株主優待品

『しあわせ株式会社』をめざして

大豆のよさを広くお客様に知っていただくために『おいしさ』を追い求め、『健康』で『楽しい』生活の応援ができることがわが社の喜びである。そのために、安全で安心できる食品を提供し、数ある製品の中からわが社の製品を選んでいただけるものをたくさん提供する事で適正な利潤を得て株主への還元、社員の満足度の向上、社会への貢献ができる企業となる。即ち、私達が志をひとつにして全員でめざしているのが『しあわせ株式会社』づくりである。

● ホームページ ●

<http://www.marusanai.co.jp/>



大豆が明日のあなたにできること。
marusan

 **マルサンアイ株式会社**

本社 / 〒444-2193 愛知県岡崎市仁木町字荒下 1 番地
TEL (0564) 27-3700 FAX (0564) 27-3714


古紙配合率100%再生紙を使用


PRINTED WITH
SOY INK
Trademark of American Soybean Association